

3

One early evening, Ichiro received a strange postcard.

"Dear Ichiro, I'm glad you are doing well. Tomorrow, I'll be holding a troublesome trial, so please come. Please come without weapons. From Wildcat"

Ichiro was delighted to have received this bizarre postcard.

Even after going to bed, Ichiro couldn't fall asleep for a while, constantly picturing Wildcat's troubled face and thinking about how tomorrow's bothersome trial will proceed.



5

The next morning, when Ichiro woke up, it was already light outside.

Ichiro finished his breakfast in a rush and went alone on a path going along a mountain stream.

As the clear wind blew, a chestnut tree dropped its chestnuts to the ground.

Ichiro asked the chestnut tree a question.

"Hey chestnut tree, have you seen Wildcat go on this path?"

"Ah, yes. Early this morning, he went past here in a carriage, heading east."

"East? That's the way I'm going right now. Thank you very much, chestnut tree."

The tree quietly dropped its chestnuts to the ground.



あるひの ゆうがた、いちろうの いえに、
おかしな はがきが とどきました。

『いちろう さま ごきげん よろしいようで けっこうです
あした めんどうな さいばんを しますから おいでください
とびどうぐ もたないで おいでください やまねこ より』

いちろうは、この へんてこな ぶんの はがきが、
うれしくて たまりませんでした。

よる ふとんに はいってからも、
やまねこの こまった かおや、
その めんどうだという さいばんの ようすなどを
そうぞうして、なかなか ねつけませんでした。



よくあさ、いちろうが めをさますと、
そとは もうすっかり あかるくなっていました。

いちろうは いそいで あさごはんを たべ、ひとりで、
たにがわに そった こみちを、
かわかみの ほうへと のぼっていきました。

すきとおった かぜが ふくと、
くりの きが ばらばらと みを おとしました。
いちろうは くりの きに たずねました。

「くりの き、くりの き、
やまねこが ここを とおらなかったかい？」
「やまねこなら、けさはやく、
ばしゃで ひがしのほうへ とんでいきましたよ」
「ひがしなら、ぼくの いくほうだね。
ありがとう、くりの きよ」

くりの きは、だまって みを ばらばらと おとしました。

